

フィンランド共和国での陸上風力発電事業への参画について ～アラヤルヴィ陸上風力発電事業～

2021年8月5日
関西電力株式会社

当社は、フィンランド共和国において、大規模な陸上風力計画であるアラヤルヴィ陸上風力発電事業に参画するため、このたび、同国の有力再エネ事業者であるイルマタールエナジー社と権益取得に関する契約を締結しました。

フィンランド共和国では、最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの比率を、2020年代に50%超に高めるため、陸上風力発電を積極的に導入しています。当社は昨年同国最大級のピーパリンマキ陸上風力発電事業に参画しており、本件は2件目の参画となります。

本事業は、ヘルシンキの北約320kmの内陸部に位置する、ローフカンガスおよびモクシーの2地点において、それぞれ特別目的会社^{※1}を設立し、今後大型の陸上風力発電機を両社計36基（総発電容量21.6万kW）設置するもので、2023年末に商業運転を開始する予定です。

※1：アラヤルヴィ陸上風力発電事業を開発、運営するために設立された特別目的会社。
それぞれ、イルマタール・アラヤルヴィ・ローフカンガス社、イルマタール・アラヤルヴィ・モクシー社。

当社は、両特別目的会社の株式各49%を、当社子会社であるケーイー・アラヤルヴィ・ホールドコ社^{※2}を通じて取得しました。これにより、当社の海外における再生可能エネルギー発電事業の持分容量は、合計105.5万kW^{※3}に、海外発電事業における持分容量は、合計284.3万kW^{※3}となります。

※2：当社100%子会社であるケーピック・ネザーランド社が、100%出資するオランダ子会社。

※3：商業運転前の参画案件を含んだ値。

当社グループは、「ゼロカーボンビジョン2050」および中期経営計画に掲げるように、これまでに培った技術力や経験を活用しながら、国内外におけるゼロカーボン化に貢献するエネルギー事業の推進に取り組んでまいります。

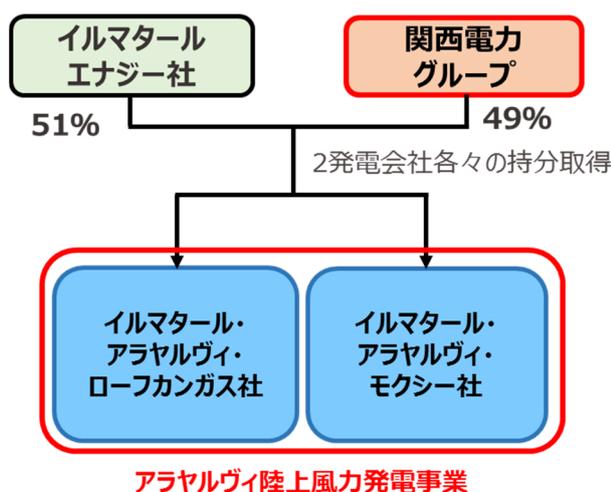
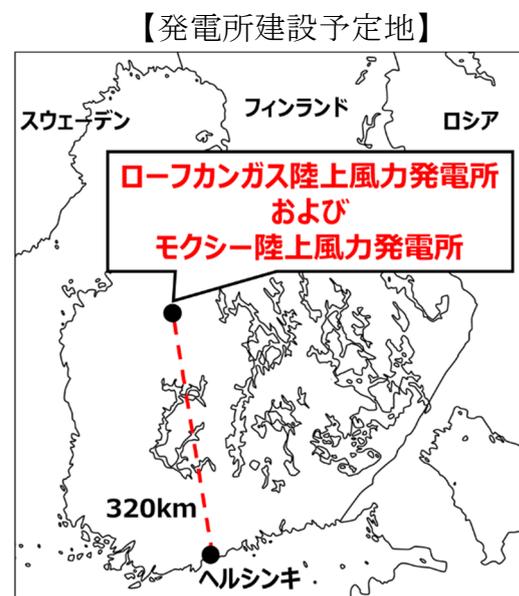
以上

別紙1：フィンランド共和国陸上風力発電事業の概要

別紙2：当社の海外事業一覧

フィンランド共和国陸上風力発電事業の概要

- (1) 事業実施国：フィンランド共和国
- (2) 発電方式：陸上風力発電
- (3) 発電所・風車基数・出力：
 ・発電所：
 ローフカンガス陸上風力発電所
 モクシー陸上風力発電所
 (ヘルシンキの北約320km)
 ・風車基数：36基
 ・合計出力：21.6万kW
- (4) 出資者：
 ・関西電力グループ：49%
 ・イルマタールエナジー社：51%



<関係会社の概要>

- ◇ イルマタールエナジー社
 代表者：最高経営責任者 ユーハ・サルサマ (Juha Sarsama)
 所在地：フィンランド共和国 ヘルシンキ ユニオニカツ 30
 事業概要：再生可能エネルギー事業、発電・電力小売り事業、
 風力発電プロジェクトの開発・建設・運用管理
- ◇ 関西電力株式会社
 代表者：取締役代表執行役社長 森本 孝
 所在地：大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号
 事業概要：電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等

当社の海外事業一覧

＜稼動中案件：12件＞

件名	国名	概要	出力 (万kW)	当社出資 比率	持分出力 (万kW)
サンロケ水力 (1998.12～)	フィリピン	ダム式水力発電所	43.6	50%	21.8 ^{※1}
名間水力 (2005.3～)	台湾	流込式水力発電所	1.7	24%	0.4 ^{※1}
国光火力 (2006.12～)	台湾	ガスコンバインドサイ クル発電所	48.0	20%	9.6
ラジャマンダラ水力 (2012.2～)	インドネシア	流込式水力発電所	4.7	49%	2.3 ^{※1}
セノコ火力 (2008.9～)	シンガポール	ガスコンバインドサイ クル発電所	280.7	15%	42.1
ブルーウォーターズ火力 (2013.2～)	オーストラリア	石炭火力発電所	45.9	50%	22.9
ナムニアップ1水力 (2013.5～)	ラオス	ダム式水力発電所	29.0	45%	13.1 ^{※1}
ウェストデプトフォード火力 (2016.12～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	76.8	17.5%	13.4
ヒッコリーラン火力 (2017.8～)	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	100.0	30%	30.0
エヴァレイアー陸上風力 (2017.11～)	アイルランド	陸上風力発電所	22.3	24%	5.4 ^{※1}
アビエータ陸上風力 (2020.9)	米国	陸上風力発電所	52.5	48.5%	25.5 ^{※1}
メドコパワー社合弁事業 5箇所	インドネシア	ガス火力発電	20.2	36%	7.3
合計			725.4		193.8 ^{※2}

＜開発（建設）中案件（6件）＞

件名	国名	概要	出力 (万kW)	当社出資 比率	持分容量 (万kW)
タンジュンジャティB火力 (2021～運転開始)	インドネシア	石炭火力発電所	214.0	25%	53.5
トライトンノール洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	85.7	16%	13.7 ^{※1}
モーレイイースト洋上風力 (2022～運転開始)	英国	洋上風力発電所	95.2	10%	9.5 ^{※1}
ピーパリンマキ陸上風力 (2021～運転開始)	フィンランド	陸上風力発電所	21.1	15%	3.2 ^{※1}
アラヤルヴィ陸上風力 (2023～運転開始)	フィンランド	陸上風力発電所	21.6	49%	10.6 ^{※1}
【参考】 セントジョセフ2号火力	米国	ガスコンバインドサイ クル発電所	(71.0)	(20%)	(14.2)
合計			437.6		90.5 ^{※2}

※1：再生可能エネルギー発電事業。海外における再生可能エネルギー発電事業の持分容量は、合計105.5万kW。

※2：関西電力の海外事業における持分容量の合計は284.3万kW。

<送電事業の参画案件：1件>

件名	国名	概要	送電容量万kW	当社持分
ノイコネクト英独連系線 (2018.2~)	英国・ドイツ	国際連系送電線	140	18.3%

<配電・小売事業の参画案件：2件>

件名	国名	概要	設備概要	当社持分
ニュークラークシティ 配電・小売事業 (2019.4~)	フィリピン	配電網の構築、 保守および電力小売	送電線、変電所、 地中配電線、 スマートメーター	9.0%
エレクトリシティ・ ノース・ウエスト社 (ENW社) 配電事業	英国	英国中西部で約 240万軒(約500 万人)の顧客への 配電事業	架空線 約12,700km、 地中線 約44,700km 変電所 96箇所	22.04%

